

2021年5月27日

Press Release



武庫川女子大学
Mukogawa Women's University

報道機関各位

「SNS と『関西』方言－大学生の方言使用実態とその意識－」 武庫川女子大学言語文化研究所が「LC りぽーと 47」を発刊

武庫川女子大学言語文化研究所（所長：影山尚之文学部教授）は、「SNS と『関西』方言－大学生の方言使用実態とその意識－」と題した「LC りぽーと 47」（2021年3月）を発刊しました。

武庫川女子大学言語文化研究所は、大学生が日常的に利用している SNS が新型コロナウイルスの感染拡大によってどのように変化したのかを調べています。

前号「LC りぽーと 46」（2020年10月）では、SNS（特に LINE）の使い方に焦点をあて、内容、頻度、やり取りの相手、使う場面などについて、新型コロナウイルスの発生以前と以後で、どのように変わったのかを報告しました。

「LC りぽーと 47」では、そのやりとりの中の「方言」に焦点を当て、大学生は SNS におけるコミュニケーションで、方言を「意識的に使うこと」、また、「意識的に使わないこと」があるのか、ないのか。それはどのような場面なのか。理由は何なのか等についてまとめました。

調査対象者は、同研究所の「SNS から日本語を見る」の受講者で、有効回答数 99。うち、受講者の母方言は関西方言 88 人、関西方言以外 11 人でした。SNS の利用時に「意識的に方言を使わない経験がある」と答えたのはほぼ全員。一方、「意識的に方言を使う経験がある」は 8 割に上りました。

【武庫川女子大学言語文化研究所について】

1988年に武庫川女子大学の附置研究所として設立。何気ない「ことば」の中にある不思議な、興味ある法則を探求し、言語文化の諸問題を追究しています。現代日本語や、英語を中心とする外国語を取り上げて社会に問題を提起し、語源、方言、若者ことば、

マスコミで使われたことばなど、さまざまな切り口から日常のことばを取り上げて調査、研究し、社会に向けてレポートしています。「LC りぽーと」はそれらの研究成果として発行しています。

「LC りぽーと」や言語文化研究所の概要につきましては、同研究所のホームページ <https://www.mukogawa-u.ac.jp/~ILC> をご覧ください。

本件についてのお問い合わせは、
武庫川女子大学言語文化研究所（Tel：0798 - 45 - 3536、Fax：0798 - 45 - 3574、
E-mail：ilc@mukogawa-u.ac.jp）までお願いします。